



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

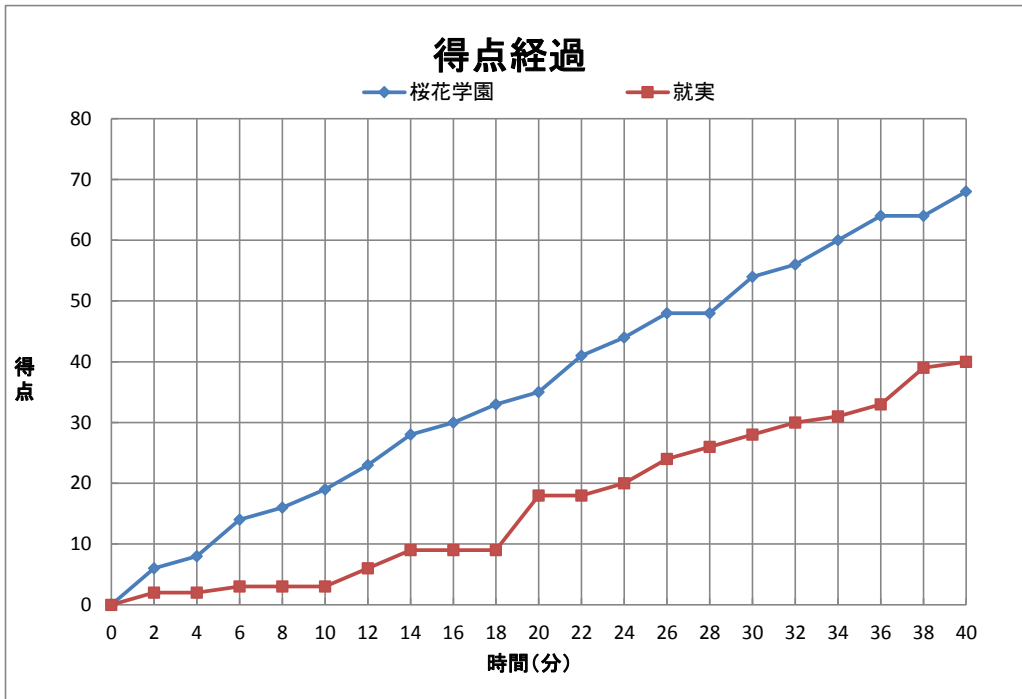
試合日	2015年8月1日
開始時間	10:00
会場	山城総合運動公園体育館
コート	L
試合順	1

Team A	19 - 3	Team B
桜花学園	16 - 15	就実
(愛知県)	68 19 - 10 40	(岡山県)
	14 - 12	
	-	

Team A 桜花学園																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	*	遠藤 桐	13	2	6	3	8	1	2	0	2	0	2	3	1	5	1	32:58
5	*	矢田 真悠	7	0	1	2	7	3	4	1	2	6	8	1	1	0	0	26:34
6		内山 未悠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	7:02
7		藤本 愛妃	4	0	0	2	5	0	1	2	0	1	1	0	0	1	0	13:07
8	*	馬瓜 ステファニー	13	0	0	6	11	1	2	2	2	4	6	4	4	3	2	30:53
9		川口 友香	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1:39
10	*	粟津 雪乃	15	0	0	7	12	1	2	4	3	6	9	5	2	1	2	28:58
11		平野 実月	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	1	3	1	0	0	5:23
12		赤木 里帆	8	0	1	4	8	0	0	1	0	2	2	1	3	1	0	20:08
13		佐古 瑠美	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:39
14		梅沢 樹奈	2	0	0	1	6	0	0	3	2	1	3	0	0	1	0	6:23
15	*	山本 麻衣	6	0	1	3	5	0	0	1	2	7	9	0	0	2	0	26:16
Team / Coach:		井上 眞一								0	2	3	5	0				
合計			68	2	10	28	66	6	11	16	16	31	47	18	12	15	5	200
RATE				20.0%		42.4%		54.5%										

Team B 就実																		
No.	S	選手名	PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			TO	AS	ST	BS	PT
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4		久山 羽菜	4	0	0	1	1	2	2	0	0	1	1	0	0	2	0	7:02
5	*	藤本 鈴	2	0	1	1	3	0	0	2	0	5	5	1	1	1	0	34:29
6		藤原 麻衣	6	0	1	3	6	0	0	1	2	1	3	2	0	0	0	20:50
7	*	折居 七海	12	0	0	5	12	2	3	1	0	3	3	3	0	0	0	28:42
8		青木 翔菜琳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0:24
9	*	塩見 あずさ	0	0	0	0	6	0	0	2	0	1	1	3	0	2	0	30:04
10		岡田 七海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	*	那須 愛加	7	1	9	1	3	2	4	2	0	4	4	4	1	2	0	38:00
12	*	田村 幸子	9	0	0	2	16	5	5	3	0	6	6	5	0	4	1	40:00
13		平尾 美玖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14		吉長 夏生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		森 夕佳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0:29
Team / Coach:		佐原 雅明								0	1	5	6	1				
合計			40	1	11	13	47	11	14	12	3	27	30	19	2	11	1	200
RATE				9.1%		27.7%		78.6%										

主審	須黒 祥子	副審	富島 健司	
----	-------	----	-------	--



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4	
TeamA	:	:	27:02	:	:	:	:
TeamB	4:55	14:15	21:15	37:27	:	:	:

タイムアウトは経過時間で表示しています

**戦評**

ここまで危なげなく勝ち上がってきた第1シード桜花学園とベスト4をかけて争うのは、接戦をものにして勝ち上がってきた岡山県の名門:就実高校。

両チームハーフマンツーマンでスタート。桜花学園は#8#10を使いながらペイントエリア内で得点。就実も#7のポストプレーで得点するがそこから得点が止まってしまふ。12対2となった残り5分で就実タイムアウトをとるが、桜花学園はフォーメーションから落ち着いてプレイし続け、19対3の桜花学園リードで終了。

第2P、桜花学園はポイントガードの#15を中心に引き続きリズムよくオフェンス。#4をはじめ交代した#12のドライブなど安定感を見せる。就実、ゴール下でバスケットから#12がカウント1ショットをもらうと#11の3Pもイン。小さい選手がポストアップを仕掛けたり、#12などインサイドの選手が外からドライブを仕掛けたりと相手のファールを誘い出す。終盤、#6#7がゴール下で粘りを見せるも、35対18で前半を折り返す。

第3P、点差を縮めたい就実、1対1のスペースを作るためにオフェンスの足を動かす。しかし、それがうまくいわずにバスを探すとバスケットからターンオーバーとなってしまふ。桜花学園は高さや裏のスペースをうまく使ってインサイドでの得点を伸ばす。

第4P、点差が開くと残り7で桜花学園は大きくメンバーチェンジ。すると就実#6#11の1対1さらには交代したキャプテン#4がシュートをねじ込む。しかし、桜花学園の#14のポストプレイや#11#12のドライブに対応できず。68対40で桜花学園が確実に準決勝へ。試合を通して、高さで大きく上回る桜花学園のペイントエリアでの攻撃やリバウンドは圧倒的であった。しかし、同時に#7の力強さや1年生#11#12の思い切りの良いプレイなど、ここまで勝ち上がってきた就実の底力を感じたゲームであった。

戦評	富山 唯
----	------

記録	鳥羽高校
----	------